

Profile

学校法人 関西学院様

■所在地:兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
■URL <http://www.kwansei.ac.jp/>

125年超の伝統に息づく進取の気風 よりよい授業環境の整備をめざす

1889(明治22)年創立の関西学院様は125年を超える歴史と、スクールモットー「Mastery for Service(奉仕のための練達)」を受け継ぐ、伝統ある総合学園として広く知られています。なかでも関西学院大学様は11学部と14研究科で構成される総合大学です。2015年には、西宮上ヶ原キャンパスの法科大学院をはじめ、神戸三田キャンパス理工学部の実験室などにDLP®方式レーザープロジェクターを導入いただきました。



▲関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス



待ち望んだ新光源プロジェクター！ 光源の長寿命化により省力化や費用の大幅削減に期待

導入の経緯

プロジェクターの増設とともに急増したランプ交換

関西学院大学様では、大教室には以前からプロジェクターを導入されていましたが、2008年からは「50人以上の講義教室については標準設備する」という方針により導入が加速。その結果、ランプの交換にかかる手間も費用も急増したとのこと。11学部と14研究科を擁する総合大学だけに教室数は多く、さらに、天井の高い教室では足場を組むなど手間がかかり、教室の利用率低下の原因にもなっていました。「近年は、照明器具の分野ではLEDをはじめとする長寿命の新光源が

普及しています。そこで、プロジェクターにも新しい光源が搭載されることを心待ちにしていたのです」と話されるのは、総務・施設管理部 総務・施設管理課の石井靖人様です。こうしたことから、同大学様では更新時期を迎えた機器には順次、レーザープロジェクターへの切り替えを実施。「パナソニック製プロジェクターはカタログのスペックどおりの明るさが得られることなどを評価しました」とは、各メーカーの展示会などを採用前に回られたという石井様の言葉です。



▲法科大学院内の模擬法廷でも、レーザープロジェクター(PT-RW630JW)をご採用



▲室内の明るさが求められる法廷内でも明るく鮮明な映像を再現



▲シンプルにまとめられた操作卓

▲法廷内のカメラ映像をモニタリングし、プロジェクターに出画できる制御室のシステム

システムの紹介

起動の速さがサービスの向上に

石井様がお話しになったとおり、大半の講義室にはプロジェクターが設置されており、その様子から、授業におけるプロジェクターの利用度の高さがうかがえます。それだけに更新後の起動の速さは好評だとか。「休憩時間が10分ほどしかなく、教室を管理する職員はプロジェクターの準備に追われる場合もありました。しかし、レーザープロジェクターを導入した教室は準備時間が短縮でき、職員にも好評です」とは石井様。プロジェクターの起動に時間がかからなくなった分、次の授業の準備に時間をかけられるようになり、サービス向上につながるのではないかと、期待されています。

法廷資料をリアルに発色よく投影

裁判員裁判に対応した法廷教室は、法廷外の別室の証人にテレビモニターを通して証人尋問をおこなう「ビデオリンク方式」の設備も備わっています。そんななか、法曹の世界をめざす大学院生を前に、レーザープロジェクターPT-RW630JWが、実際の法廷さながらに、法廷内外の映像や資料などを投影しています。「既存のプロジェクターに比較して、画像の明瞭度が向上していると思います。また、輝度が同じ程度のモデルと比べると発色がよく、照明や外光などの環境に影響されにくいように感じています」。

周辺機器との接続を考慮

双方向授業に対応した映像設備を整えるなど、関西学院大学様ではネットワーク環境も充実。最新機器への関心の高さもうかがえます。こうしたなか、神戸三田キャンパスの理工学部の生命科学実験室では、PT-RZ570JWを採用いただいています。生命科学という分野だけに、投影する資料は微細なものが多いと思われるが、明るさや発色性のよさなどで、再現性を高めています。「機器の選定では、近年のパソコンなどに搭載されているデジタル接続規格にも対応できるよう、接続の点も配慮しました」とは石井様。常に熱心に、また長期的な視点で設備更新に取り組んでおられます。



▲板書との併用もでき、どの角度からでも映像が見やすいマルチスクリーン



▲2系統のプロジェクターに信号伝送できるDIGITAL LINK機能で配線をシンプル化



▲外光が入る教室でも鮮明な画像を投写



▲三田キャンパスでは生命科学実験室で、レーザープロジェクターが精密な映像を投写



▲2016年春発売のPT-RZ570JWをご採用

導入を終えて

プロジェクターに限らず、電子黒板や音量機器など、パナソニック様には、その豊富な経験に基づくご提案をいただいています。今後も、こうしたアドバイスを参考にしながら、教育環境の向上に役立つ設備整備を図っていきたいと思います。



今回、取材にご協力いただきました

学校法人関西学院
総務・施設管理部 総務・施設管理課
主事 石井 靖人様

納入機器



1チップDLP®レーザープロジェクター
PT-RW630JW ×5台



1チップDLP®レーザープロジェクター
PT-RZ570JW ×3台

取材させていただいた場所

■西宮上ヶ原キャンパス

「法科大学院 模擬法廷」
PT-RW630JW ×1台
「大学院1号館 205教室」
PT-RW630JW ×2台

■神戸三田キャンパス

「第5別館 第5教室」
PT-RW630JW ×1台
「IV号館 生命科学実験室」
PT-RZ570JW ×3台

■システム設計 パナソニックシステムネットワークス株式会社
システムソリューションズジャパンカンパニー

■発行 パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

その他の納入事例に関しては、
ホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/prodisplays/>
<http://panasonic.biz/projector/jirei>

